

1 法令名

コークス炉大気汚染物排出基準(GB16171-1996)

Emission standard of air pollutants for coke oven (GB16171-1996)

2 制定年月

1996年3月7日

3 発効年月

1997年1月1日

4 法令の概要

4.1 目的

人間の健康や環境に害を及ぼさないように、コークス炉大気汚染物の排出基準を規定し、制限する。

4.2 規制対象

本基準は、機械式コークス炉と非機械式コークス炉の大気汚染物の排出管理に適用するほか、その建設プロジェクトの環境影響評価、設計、竣工時の認定及び使用段階での大気汚染物の排出管理に適用する。

本基準において、非機械式コークス炉とは、洗炭を原料とする配合工程があり、コークス率を70%以上とすること、炉体が密閉し、内外からの熱供給があること、排煙は集中的に行い、コークス炉の高さは25メートル以上であることを指す。

4.3 規制内容

(1) 本基準では、機械式コークス炉の非組織的に汚染物排出の濃度の許容値、非機械式コークス炉の非組織的に汚染物排出の濃度の許容値が規定されている。

(2) 排出基準の適用地域について、本基準は一級、二級、三級に分けられ、GB3095の大気汚染管理地域とそれぞれの基準に適応する。その中に、本基準の発効日以降から、GB3095で決められた一級地域では、機械式コークス炉と非機械式コークス炉の新築、改築をし、汚染物の排出量を増加させることはいけない。

(3) サンプル採取場所に関して、機械式コークス炉非組織排出の場合にはコークス炉天井貯炭タンクの第1から第4までの炭化室上昇パイプの横にある。非機械式コークス炉の場合、GB/T16157の規定に従うことになる。

(4) サンプル採取回数に関して、機械式コークス炉の場合は正常生産過程でサンプル採取する。その採取は中流量サンプル器(カバーがなく、分段式でないもの)を使う。コークス炉の天井で4時間/回連続的に行う。非機械式コークス炉の場合、60%以上のコークス炉ポイントで点火・コークス形成段階にサンプル採取をし、リングルマン黒度の測定をする。

5 法令が入手できる URL

中国環境保護部 Web サイト

http://kjs.mep.gov.cn/hjbhbz/bzwb/dqhjbh/dqgdwrywrwpfbz/199701/t19970101_67507.htm